

いわき地域環境科学会会報



ふいーるど

FIELD No.105

< 目 次 >

【会長挨拶】

- ★ 会長就任にあたって 1

【行事案内】

- ★ 磯の観察会 3

【報告】

- ★ 幹事会、総会・交流会報告 3
★ いわき地域再生エネルギー利用研究会の設立 5
★ ビオトープ取材 6
★ NPOいわき環境研究室の動きから 7

【会長挨拶】

会長就任にあたって

諸橋健一

青天の霹靂の例えのようにこのたびいわき地域環境科学会第5代会長に就任することになりました。それまでは副会長という立場で、本会とのかかわりを持ってまいりました。ここに至ってみると、あらためて責任の重大さを痛感し身の引き締まる思いをいたしております。

顧みますと、橋本前会長は、この6年間、身を捨てて本会の運営にあたられ、NPO法人いわき環境研究室の設立をはじめとした、関連団体との連携、地域の環境教育の支援、大震災後の地域環境の復元関連事業等、これからの本会運営に不可欠な確固たる基盤づくりを実現されました。私はここにあらためて橋本前会長の業績に深い敬意を表するものでございます。

もとより、引継ぎを受けました、本会の施策を継承していくことは、当然のことです。これまで残された諸課題を解決し、次へ橋渡しすることが、私に課せられたる使命と心得ております。

さて、本会は、昭和63年5月に設立し、今年で26年目となる歴史ある団体で、もうす

でに成熟期を迎えていると言っても過言ではないと思っております。本会がこのように長く継続してこられたのも、それぞれの時代、その時々、いわき地域の環境諸問題について、意見交換、情報交換などを通して、長年にわたって、諸先輩、会員の皆様のご尽力が実を結んだからこそと考えております。

本年度の事業計画では、「いわき地域の環境団体との連携を深めつつ、地域環境の保全に努める」を大きな目標に掲げております。5月25日に開催された、本会総会のあと、交流会がもたれたことは、記憶に新しいところです。どの環境問題も、私たち一人ひとりの活動に起因していることは、あらためて言うまでもありません。市民、企業、行政などの各主体がそれぞれ協力していかなければならないと、従来から言われてきた所です。

行政やマスメディアの仲介によらない市民団体の連携はすでに、どの地域でも行われております。こうした、多面的な市民相互の交流がいわき地域の新しい地域文化を形づくり、そして、いわきの豊かな自然と恵まれた気候、風土を生かして、いわき独自の新しい地域環境をつくっていくと思えます。そこで、いわき地域環境科学会の実力が発揮できるのではないのでしょうか、

今年度の事業はすでにスタートしております。いくつかの事業は計画に基づき、実施に向け動き出しています。その中でいくつかの課題が見えてきました。

先ず、連携のあり方です。今年度の目標に「環境団体の連携」を掲げております。一見、連携することが目的のように考えられがちです。しかし、良く考えてみますと、真の目的は「地域環境の保全」にあることがわかります。日本人の欠点として「目的と手段がよく入れ替わる」と言われております。その行先は敗北、失敗です。何のために連携か、目的を見定めて行動する必要があります。対等な立場で、お互いを尊重し、互いに利益を得る関係、いわゆるウィンウィンの関係を築いていくことが基本と考えております。一方的な援助・支援の関係は不自然であり、長続きしません。

その他、従来から抱えている課題がいくつかあります。事務局の事務処理能力に対して、事業量が適切か。本会活動がマスメディアにとり上げられることが少ない。広報体制が弱いなどです。

本会は基本的に任意団体であり、個人の活動に負うことが多く、組織的に早急に解決を図ることが難しい状況にあります。こえから模索しながら、走りながら考えていくことになると思えます。

私には、一つの夢があります。それは本会を楽しいものにしたいたいということです。本会の事業はどれをとっても、すばらしい企画のものばかりです。しかし、会員の参加が少ないのが残念でなりません。広報やネーミングなど一工夫すれば、もっと会員の参加が増えるのではと思っております。同じ素材でも発想を変えれば全く別のものになる。発想を楽しむこと、楽しみながら発想することだと思えます。

私に、リーダーシップや先見性が備わっているかどうかはわかりません。今、最も大切なことは、結果でもなく、過程でもなく、これからの行動だと思っております。これからも、皆様方のご協力をお願いいたします。

【行事案内】

磯の観察会

東日本大震災から3年経過しましたが、まだ福島県の海の安全・安心について、完全に払拭されたわけではありません。しかし私達の放射線量調査結果によりますと、いわき市の波打ち際はどの場所と比較しても低く、事故前の自然の海に戻っています。

今年度も引き続きいわき地域環境科学会主催の磯の観察会を下記のとおり開催しますので、会員の方、会員でない方もふるって参加して下さるようお願いします。

記

日時 平成26年7月27日（日）10時00分～12時00分（干潮時刻は10時18分）＊小雨決行
中止の場合は前日19時までに連絡します。

場所 いわき市小名浜三崎公園内三崎前海岸

集合場所：潮見台駐車場（30台駐車可能） 当会の旗が目印です。

内容 午前 10時～12時 潮見台駐車場 三崎前海岸

磯の観察会の説明 班編成とリーダー指名

海岸の放射線量測定、磯の生物観察・採集

持ち物 帽子、靴（濡れてもよい運動靴、ビーチサンダル、長靴不可）、軍手、タオル、
水筒

参加費 無料

申し込み・問い合わせ先

いわき地域環境科学会事務局

担当 平川 携帯090-9152-6701 eメール nmgmj431@ybb.ne.jp

・申し込み期限 7月22日（火）

【報告】 平成26年度第1回幹事会報告

去る平成26年5月17日（土）15時から、いわき市労働福祉会館・中会議室において、平成26年度第1回幹事会が開催されました。当日は、役員および事務局員16名が出席しました。佐藤事務局次長の進行で開会し、橋本会長の挨拶の後、富田副会長の議事進行により、定期総会を前に平成25年度事業ならびに会計決算報告、平成26年度事業案ならびに予算案の審議が行われ、出席者からご意見をいただきました。また、今年は総会にて規約の改正ならびに役員の改選が行われることになっており、それらに関する審議も行われました。



(上は富田副会長の議事により進行する幹事会状況です)

【報告】 平成 26 年度年次総会・交流会 実施報告

去る平成 26 年 5 月 25 日（日）14 時から、いわき市生涯学習センター大会議室において、平成 26 年度年次総会が開催されました。当日の出席者は約 30 名でした。

和田幹事の進行で開会し、橋本会長の挨拶の後、幹事会に続いて富田副会長の議事進行により、平成 25 年度事業ならびに会計決算報告が事務局からなされ、平成 26 年度事業案ならびに予算案の審議が行われ、承認されました。平成 25 年度の事業においては、「磯の観察会」や「子供環境研究発表会」、「発表会」などの定例となっている事業のほか、日本財団からの助成を受けて継続実施している「いわきの海岸復元プロジェクト」としての小・中・高校の環境学習支援の実績、他団体と共催で実施された「鳴き砂フェスティバル」などについて報告がなされました。平成 26 年度の事業としては、関係団体との連携を深めた活動を推進して行くことが承認されました。

今回の総会では規約改正も行われ、会員の種別の中に「団体会員」が新設されました。また、役員改選も行われ、これまで副会長を務めてこられた諸橋健一氏が第 5 代会長に就任されました。また、これまで会長を務めてこられた橋本孝一氏と副会長を務めてこられた秋元義正氏が顧問に就任され、これまで幹事を務めてこられた平川英人氏と和田佳代子氏が副会長に就任されました。さらに、事務局の体制も役割分担を明確にするなどの変更がありました。新役員及び事務局体制の詳細につきましては、総会資料をご参照ください。

総会に続いて、15 時から「交流会」が開催されました。ここ数年、年次総会の後には講師をお招きしてその年の会のテーマに沿った演題での「講演会」が行われておりましたが、今年の会の活動方針の大きなテーマが「地域連携」ということで、いわき市で活動している関連団体の皆様をお招きして、初めての試みとなる「交流会」を開催しました。

各団体から多くの方にご出席いただき、総会から引き続き出席された会員の方々を含め、出席者数はおおよそ 50 名となりました。

交流会では、直前の総会で新しく会長に就任された諸橋健一会長から、挨拶と会の趣旨の説明があり、その後、当日ご出席いただいた各団体の代表者の方々に、活動内容について発表していただきました。各団体とも精力的に活動を進めている様子が報告され、時間

の関係で懇親の時間はあまり確保できませんでしたが、貴重な情報交換の場になったのではないかと思います。これからも、関連団体との連携をはかってまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

最後に、総会では富田議長はじめご出席された会員の皆様のご協力のおかげで無事に議事を終了することができましたこと、交流会では多くの関連団体の皆様にご多忙の中お越しいただきご発表いただきましたことに、本紙を借りて御礼申し上げます。



左上の写真は総会の状況、右上は諸橋新会長の挨拶、下は交流会での全体の状況です



【報告】 いわき地域再生エネルギー利用研究会の設立

いわき地域にある再生可能エネルギーである水力、風力、太陽光を活用して電力を発生させ、それを有効に利活用する小型システムを実際に設置することで、研究会メンバーだけでなく、子供達や地域の方々にも参加してもらえる研究会を設立することになりました。

いわき地域環境科学会、NPO法人いわき環境研究室の会員を中心に、趣旨に共感する方々の参加を期待しています。世話人による研究会の設立準備も終わり、設立総会に向かって進み始めました。

どの方向からビオトープを眺めるのが好きですかとの問いには、予想していたことと反対に二ツ箭山を背にしてビオトープを眺めるのが好きで、そこに小さな椅子を置き、休みながら眺めていると疲れが取れるとのことでした。

毎日、日の出頃よりビオトープに来て除草などの管理をしていることに対して、奥さんも少しあきれ気味とのことでした。家庭サービスをあまりしないで、ボランティア活動などに出かけるのは当方も同じで、より親しみがわいてきました。

蓮の葉が生い茂る沼にはトンボが飛んでいました。吉田さんからトンボには詳しいですかの質問に対し、自分は環境ボランティア団体に籍を置いてはいるが、残念ながらその方面には殆ど知識が無いが、会の仲間には詳しい人がいるとの返答をしました。

それでもムカシトンボの話を熱心してくれました。ムカシトンボは普通のトンボのように葉や枝に止まることがなく、沼の上ではいつも飛び回っているため写真を撮るのになかなか取れないとのことでした。更に、この沼にはムカシトンボは1匹くらいしかいないように思えるので、心配しているのだが、毎年戻ってくるとのことで見つけた時は本当に嬉しく思うとのこと。また、子供達が遊びに来るのが嬉しいとのこと、「ふいーるど」に記事と写真を載せると話したところ、是非、見に来て欲しいと書いてもらいたいとのことでした。

写真を撮り終わり、黙々と除草をしている吉田さんに、また近い内に見に来ると約束し、ビオトープを離れました。下の写真は、吉田さんが一番好きと話していた方向からのビオトープの風景です。(会員の中西恒雄からの報告です。続報をお楽しみに！)



【報告】 ◇◇◇ NPO 法人 いわき環境研究室 からの報告 ◇◇◇

(平成 26 年 5 月 1 日～6 月 30 日)

【1】平成 26 年度理事会・総会を開催しました

6 月 11 日 (水) 午後 5 時から、平成 26 年度第 2 回となる理事会が、福島高専専攻科棟において開催されました。理事会には、理事 8 名中 7 名が出席し、総会に向けての提案事項等を中心に話し合われました。特に、会費の改正案 (定款第 8 条、附則) については活発な意見交換がなされました。

◇平成 26 年度通常総会が、午後 6 時 30 分から、理事会と同じ会場で開催されました。

先ず事務局から、会員 18 名中 16 名出席 (内、委任状 1 名分を含む) で、総会が成立していることが報告されました。橋本理事長の挨拶の後、議長に平川英人理事が選任され、議案の審議に入りました。平成 25 年度の事業報告・決算報告・監査報告については、原

案通り承認されました。平成 26 年度の事業計画・予算案では、予算書の表現方法に一部修正を加え、承認されました。また、会費の改正案についても事務局提案通り承認されました。改正内容は下記のとおりです。

第 8 条 (入会金及び会費) 会員は、総会において定められる会費を納入しなければならない。

附則 6. この法人の会費は、第 8 条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

年会費 正会員 2,000 円、 特別会員 1 口 10,000 円

総会等の写真 (左: 全体風景、右: 橋本理事長の挨拶)



【2】行事予告 「小学生の夏休み自由研究のための支援講座」を開催します

7 月 13 日 (日) 午前 10 時から 14 時、いわき市フラワーセンターにて講座を開催します。今回は、「風の持つさまざまな力」をテーマに、講義と実験を交えての支援講座となります。参加費は親子で 500 円 (材料費等) です。

申込方法: ハガキまたは FAX に、「①お名前、②学校名・学年、③住所、④電話番号、⑤保護者の参加の有無」をご記入の上、下記宛お申込み下さい。

★〒970-8018 いわき市平四ツ波字石森 116

いわき市フラワーセンター FAX:0246-23-6450

★〒970-8003 いわき市

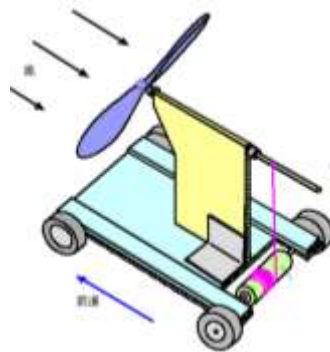
平下平窪字鍛冶内 53 - 14

NPO 法人いわき環境

研究室 (橋本孝一)

右は風に向かって走る風車の完成図です

皆さんに製作してもらい実際に走らせます。



2014. 7.1

No.105

発行: いわき地域環境科学会

福島工業高等専門学校

地域環境テクノセンター内

〒970 - 8034

いわき市平上荒川字長尾30

TEL. 0246 (46) 0821

FAX. 0246 (46) 0843

E-mail : mail@essid.org

URL : <http://www.essid.org/>